



「ヘチマ」ってなぜいうようになったの

糸瓜と書くヘチマ

ヘチマは、中国語では「絲瓜」と書きます。日本でも、ヘチマを漢字では「糸瓜」と書きます。ヘチマのももとの産地は、アジアの熱帯地方で、江戸時代の初めごろに、日本に入ってきました。

ヘチマの語源

ヘチマという名前が、どこからきたかについては、次のような説があります。最初は、「いとうり」とよばれていたのが、「い」が省略されて「とうり」となり、さらに、「とうり」の「と」が、いろはの「へ」と「ち」の間にあることから、「へちま（へち間）」になった、という説です。また、ヘチマの実には繊維が多いことから、「へすぢみ（綜筋実、全部が筋の実）」からきた、という説もあります。

いろいろ役に立つヘチマ

ヘチマの若いものは食用になり、熟したものは入浴たわしがとれます。さらに、くきからはヘチマ水を取り、化粧水やせき止めの薬にします。（監修・田代 脩）

